

地域とともにある学校づくりを 推進していくための 副校長・教頭の役割

平成28年度全国公立学校教頭会 中央研修大会
(平成29年2月10日：メルパルクホール)

全国公立学校教頭会 副会長

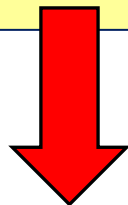
埼玉県公立学校教頭会 副会長

埼玉県春日部市立小湊小学校 教頭 加藤 景子

テーマ

『 地域とともにある学校づくりを推進していくための
副校長・教頭の役割 』

視点1 これからの学校と地域の連携・協働のあり方



- 1 春日部市の紹介・春日部市の教育
- 2 学校応援団について
- 3 小湊小学校の紹介
- 4 春日部市教頭会アンケートから

春日部市 とは？

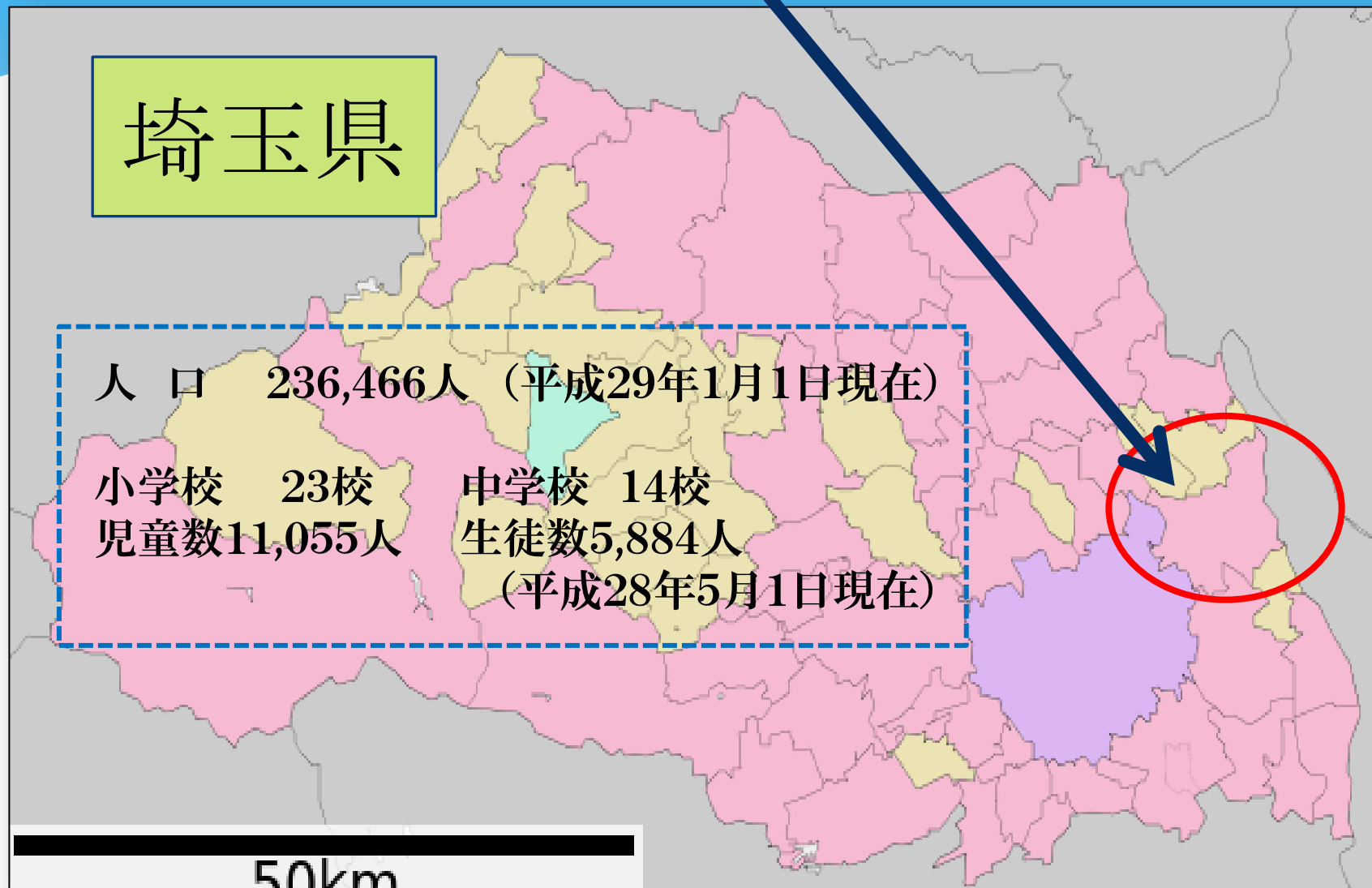
埼玉県

人口 236,466人 (平成29年1月1日現在)

小学校 23校
児童数11,055人

中学校 14校
生徒数5,884人
(平成28年5月1日現在)

50km



春日部市

「クレヨンしんちゃん」が春日部市を応援しています

クレヨンしんちゃん が
春日部市を応援しています

クレヨンしんちゃん一家は、平成16年に旧春日部市の市制施行50周年を記念して特別住民登録されました。
平成21年度から、「日本一子育てしやすいまち」づくりへの取り組みに「子育て応援キャラクター」として登場しています。
そして、平成22年度からは、「まちの案内人」として市の広報活動で活躍中です。



春日部市広報誌12月号から

2 「クレヨンしんちゃん」ラッピングバス運行開始(11月)



「いつでもしんちゃんに会えるまち」を基本コンセプトとして、しんちゃんのデザインを車体外にラッピングした春バスの運行が開始しました。区間は荒巻～幸松地区ルート、春日駅西口～江戸・豊原ルート、庄和地区北・南ルートで運行しています。また、東武鉄道線では、しんちゃんラッピングトレインが運行を開始しています。

春日部市の教育

春日部メソッド

「伝え合い 学びあい 育ちあい 思い合いが
うれしい教室 うれしい学校」

「伝え合い 学びあい 育ちあい 思い合いが
うれしい学校づくり」

学校と家庭・地域にむけて

地域・社会と一体となったチームづくり
(攻めるチーム学校づくりの推進)

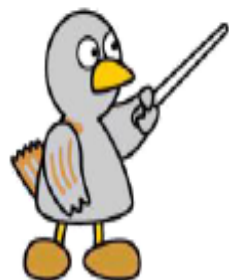
学校応援団とは？ <埼玉県>

学校での教育活動を支援する保護者・地域の方によるボランティアの活動組織。

設置率は、小・中学校とも100%

学校応援団の主な活動

学習活動への支援



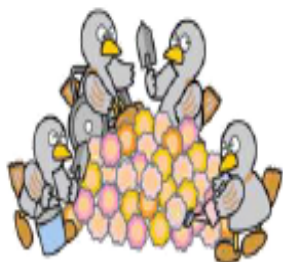
- ・ミシン、書写等の実技支援
- ・体験活動への支援 など

安心・安全確保への支援



- ・登下校時の通学路の見守り
- ・朝の挨拶運動、校内外の巡回
- ・防災訓練への協力 など

学校の環境整備への支援



- ・花壇の整備、除草
- ・学校の施設設備の修繕
- ・学校図書館の図書整理 など

クラブ活動への支援



- ・実技指導や支援 など

小学校における「学校応援団」のモデル

学校・家庭・地域が一体となって子供の育成に取り組む



本校について 春日部市立小湊小学校



【学校教育目標】

自主自律の精神にとんだ人間性豊かなたくましい児童の育成

- I 自分いっぱい活動⇒知恵いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい
- II はだして脳を鍛える⇒はだし教育の推進（身体能力の推進・脳の活性化）





平成28年度 春日部市立小淵小学校グランドデザイン

＜学校教育目標＞ 自主自律の精神にとんだ人間性豊かなたくましい児童の育成
— 瞳キラキラ 笑顔いっぱいの学校の創造 —

○保護者の願い ○児童の願い ○地域の願い

- 憲法・教育基本法・学習指導要領
- 埼玉県教育行政重点施策
 - ・生きる力と絆の埼玉教育プラン
- 春日部市教育行政重点施策
 - ・魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動
 - ・かすかべっ子はぐみプラン
 - ・春日部メソッド

目指す学校像 「児童が自ら感じ、考え、いきいきと楽しく活動する学校」
(1)学ぶ力のつく学校 (2)安心・安全と環境の整った学校 (3)活力に満ちた学校

目指す教職員像

- (1) 人間性豊かな魅力ある教職員
- (2) 専門性が高く学び続ける教職員
- (3) 教育公務員としての自覚をもち、自己を律する教職員



自分いっぱい運動

＜自分いっぱい運動＞

- 「知」「徳」「体」をバランスよくはぐくむ
- ・知恵いっぱい (タンポポのように)
- ・優しさいっぱい (コスモスのように)
- ・元気いっぱい (ヒマワリのように)

チーム小淵

＜はだしで脳を鍛える学校＞

- はだしの教育の推進 (継続36年目)
- ・身体能力の向上
- ・脳の活性化



はだしの教育

平成28年度研究主題「深める時間の充実による児童の学力の向上を目指して」
— つまずき解消のための指導法の工夫 —

小淵小学校 平成28年度教育活動の重点及び方策

重点1

学ぶ喜びを味わわせ、生きる力を育む授業の展開

- わかる授業の実現
 - 指導方法・指導形態の工夫・改善、研修の推進
- 基礎・基本の徹底
 - 読む・書く・計算の定着、学年部会と専門部会との連携
- 効果的な少人数指導の展開
 - 算数科における少人数指導の実施と研究の推進
- 児童の伸びを促す適切な評価の実施
 - 児童の意欲を引き出す評価



重点2

心豊かな児童の育成

- 暖め合う学校づくりの推進
 - 思いやりの心をもち、互いに尊重し合う望ましい人間関係づくりの推進
- 歌声の響く学校づくり
 - どこでも誰でも気持ちのよい歌声を響かせる集団づくり
- 道徳教育の充実・推進
 - 心耕す「道徳の時間」の実施と道徳的実践力の育成
- 「一専仕」の実現
 - 奉仕の心をはぐくみ、可視化する活動の推進



重点3

自主・自律のための積極的生徒指導の推進

- 基本的な生活習慣の育成
 - 「小淵っ子 10の約束」
 - 「笑顔いっぱい」の取組
- 不登校の予防・解消と問題行動への適切な対応
 - 生徒指導委員会を中核にした組織対応と縦・横・相の徹底
- 豊かな体験活動の推進
 - 自然体験・社会体験・福祉体験等の体験学習の推進



重点4

潤いと活気のある教育環境の整備

- こころ和む、美しい環境づくり
 - 「花いっぱい」の学校づくり
 - 「率先垂範」の清掃活動で清潔な環境づくり
- 安心・安全な環境づくり
 - 安全点検の実施と、迅速な対応・修繕
- 掲示教育の充実
 - 日々の活動がわかる掲示の工夫



重点5

体力の向上と健康・安全教育の推進

- 体力向上に向けての取組
 - 「はだし教育」の推進
- 安全指導の実践
 - 交通安全・災害の指導徹底と安全行動の習得
 - 不審者対応および110番の家との連携
- 健康なからだづくりの推進
 - 食育の推進
 - 「快食・快眠」の生活リズム



重点6

保護者・地域に関わった学校づくりの推進

- 教育活動の積極的な公開と情報発信
 - 各種たよりの発行、ホームページの充実、ブログによる随時の情報発信
- 地域および関係機関との連携・協力による教育の推進
 - 書写、俳句、昔のあそび、学校ファーム等における教育活動支援
 - 教育センター等、関係機関との連携・協力



目指す学校像



児童自ら感じ、考え、
いきいきと楽しく活動する学校

- (1) 学ぶ力のつく学校
- (2) 安心・安全と環境の整った学校
- (3) 活力に満ちた学校

本校の主な沿革



- 昭和55年(1980年)、幸松小学校から分離し、
春日部市立小湊小学校として開校（創立37年目）
児童数516名、14学級

- 昭和56年、小湊小学校校歌発表会
(作詞：森 又三 作曲：日向雅男)
- 昭和56年、「はだしの教育」が始まる
- 昭和56年、体育館、プール竣工
- 平成6年、「トトロの森」完成
- 平成11年、「はだしの像」設置（彫刻家：前田忠一 作）
- 平成25年、校舎・体育館の耐震補強工事
- 平成28年、プール改修工事完了、教室エアコン稼働

小湊小学校 校歌



一、
花紅に みどり濃き
小湊の里の ただ中に
ひとときわ高し 我が校舎
うつろう四季に 色映えて
我等励まん きょうの日を

二、
歴史はゆかし はるかなる
みちのくの道 一すじに
ゆきし芭蕉の 跡なきも
不二山わたる 松風に
われら学ばん 人の道

三、
忘るな父母と 師のさとし
語ろう友と 肩組みて
文化に薰る 春日部の
輝く明日に 胸をはる
我等小湊の 小学生



市内陸上大会 中ブロック 13年ぶりの優勝



はだしの教育



・ 研究への協力



ホタルの飼育・放流・観賞 ～トトロの森～



トトロ俳句 トトロ句集



1年俳句教室



夕日色のせんこう花火
彼岸花

夕やけにトンボが一本
線を引く

母よりもやせるの上手な
雪だるま

第二十五回 伊藤園新俳句大賞
ようこそとあいさつをするとき
母よりもやせるの上手な雪だるま
冬になりふんだら土が声を
飛び立って白鳥になるスタート台
一年の思い出ふくらむ雪だるま
書いた文字あらくなっている寒い朝

お願いしますの会・お礼の会



安全ボランティア



安全ボランティアによる除草



安全ボランティア会議



学習ボランティア



地域の方々による学習支援

保護者による学習支援



卒業生（中学生）による学習支援



栽培ボランティア 花植えボランティア



栽培ボランティア

花植えボランティア



学校評議員会 学校評議員並びに自治会長会議



学校評議員、自治会長
の方々には、学校関係
者評価をお願いし、
2月末の報告し、
ご意見をいただきます。



学校応援団・学校評議員会

における課題は？ <春日部市教頭会アンケートから>

学校応援団

- 安全、見守りボランティアの活動は充実しているが、学習支援・環境支援をどう組織化するか。
- いつ、どこで、何を確認しておかないとマンネリ化する。
- 毎年同じような活動、パターン化している。
- 地域の方々との打合せの時間が足りない。
- 地域の方々の高齢化や代替わりをどうするか。
- 地域の教材化が必要。
- 学校応援団の位置づけはあるが、個々の動きとなりきちんとした組織にはなっていない。
- 中学校では、生徒が社会の中でどのように生きていくか職場体験等を通して考えたり、地域との接点を見いだす情報、そして担い手となっていただきたい。

学校応援団・学校評議員会 における課題は？ <春日部市教頭会アンケートから>

学校評議員会

- ◆年3回開催⇒意見をいただくなどしているが、やや形骸化
- ◆学校評議員ではあるが、「一保護者」「一OG」という場にとどまっている方もおり、なかなか学校経営の視点で考えるのが難しい。
- ◆年2回の連絡協議会だけで、なかなか先を見通した話が進められない。

学校応援団・学校評議員会における 教頭の役割は？ <春日部市教頭会アンケート>

- ☐ 連絡調整役であり、地域の方々から本音を聞く
- ☐ 来校時に教育活動を紹介する
- ☐ 学校から支援と地域の思い・願いのずれがあるときの調整
- ☐ 新規に導入する場合、先生方の抵抗感のバランスをとる
- ☐ 日程調整、場の設定
- ☐ 情報交換、顔つなぎ、積極的に動いて信頼関係を構築する
- ☐ 新規人材の発掘

学校応援団・学校評議員会における 教頭の役割は？ <春日部市教頭会アンケート>

- 活動内容の見直し⇒地域の教材化づくり
- 先生方への地域の紹介
- 意図的な、日程や場の設定⇒学校に来て欲しい場面を設定
- 学校の窓口であり、連絡・相談をまめに行う。
- 運営していけるいよう人間関係とともに組織を構築する。
- 次の教頭への確かな引き継ぎ
- 教頭としてもっと積極的に学校の外に出て地域との連携を深める必要がある。
- 学校生活の情報をさらに積極的に発信していく。

窓口 連絡調整役 コーディネーター ⇒ **人間関係の構築**

「地域とともにある学校」とは？

今の地域とのかかわりから 何をどう一歩進めるのか？

- コミュニティ・スクールの概念は素晴らしい。
- 地域の中で強い発動力のある方と、学校運営面で慎重に
していく必要がある。合議のやりかた、細かなところまで
の取り決めや調整が必要である。
- 教職員が変わっても、受け継がれていくものであるように。
- 地域や保護者の方々の人選が難しい（教育に理解があること）
- 地域の行事と学校の授業に、どう繋ぐか。⇒協議が大切
- 地域の方々がどれだけ参加できるだろうか。時間的余裕は？

＜春日部市教頭会アンケート＞

「地域とともにある学校」とは？

今の地域とのかかわりから 何をどう一歩進めるのか？

- 小学校、中学校の発達段階に応じて「地域の中で自分がどんな役割を持ちたいか」、その意欲を持たせるには生徒と地域の方がふれあい、考える機会をつくること。
- 学校がやるべきことを精査していく必要がある。
- 公立学校として、地域の声をどのくらい活かせるのか。

発信・調整・コーディネーターとして

⇒**学校運営協議会の担い手**（制度化・組織化）

<春日部市教頭会アンケート>

春日部・小湊の
子どもをこのように
育てたい！
マネジメント力

地域とともにある
学校を目指して



地 域

制度化（行政）

学 校

P D C A

意識・自覚



情報共有

特色・文化



平成28年度全国公立学校教頭会 中央研修大会



ご静聴いただき有り難うございました